

8-4-31 環境専門委員会

1. 主な活動の記録

(1) 専門委員会の開催

令和5年4月より2ヶ月毎に1回の計6回開催し、技術部会、社会マネジメント技術委員会からの報告事項、依頼事項に関する審議、当専門委員会の活動及びイベントに関する協議を行った。また、当専門委員会開催時には勉強会を実施し、今年度は「気候変動緩和策に関連する業務」、「河川環境行政の最新動向と環境 DNAの最新適用事例」、「福島県内の震災復興における環境課題の解決と現状」、「道路におけるCN推進戦略」、「再生可能エネルギーに関する最新動向」等について各ワーキング・グループより話題提供を受け、意見交換を実施。特に「最近の河川環境行政の動き」については国交省河川環境課 舩田 技術調整官をお招きし、話題提供と意見交換を実施した。今後も専門委員会の開催毎に継続予定。

(2) 協会員を対象にした環境セミナーの開催

今年度は、福島県内にて「震災復興における環境課題の解決と現状」と題し、以下の講演会、現地見学会を開催した。なお、講演会はオンライン形式で会員会社に参加して頂き、現地見学会は環境専門委員会委員のみで実施した。

講演会：R5/10/18 14:30～17:20 参加者 104名

演題①：福島における復興の経緯と現状と課題

講師①：福島大学共生システム理工学類社会計画コース 教授 川崎 興太氏

演題②：原子力災害被災地から再生可能エネルギー先駆けの地へ

講師②：福島大学共生システム理工学類エネルギーコース 教授 佐藤 理夫氏

見学会：R5/10/18 10:40～12:10、R5/10/19 9:10～14:10～19 参加者 19名

開催場所：福島県田村郡三春町、浜通り地方の関連施設（福島県環境創造センター・コミュニティ福島、東日本大震災原子力災害伝

承館、水素エネルギー研究フィールド、中間貯蔵工事情報センター）

環境セミナー開催後、実施記録を報告書としてまとめた。

(3) RCCM 更新テキスト(建設環境)の改訂

更新講習用のテキスト(PPT)について、最新情報に改訂すべき箇所を抽出し、各委員で分担して追加更新を行い、演習問題も更新した。

(4) 協会本部、技術部会等からの依頼対応

a) 建設コンサルタント白書の執筆依頼対応

河川系WGの委員1名を選任した。グリーンインフラに関する部分の執筆を担当した。

b) 統括技術委員会、社会マネジメント技術委員会からの意見照会、情報提供依頼対応

c) 業務研究発表会一次審査員・運営補助

横断領域WGの委員1名を選任した。一次審査及び研究発表会当日の運営補助を務めた。

d) 対外活動委員会WG(水資源機構)委員受嘱 当専門委員長が受嘱し委員会対応した。

2. 外部団体の委員会等、委員受嘱

(1) 国交省「公共工事の環境負荷低減施策推進委員会」委員受嘱

・当専門委員長が受嘱し委員会対応した。

3. 次年度の活動について

建設コンサルタント業務の中で環境に関する相互の技術水準の向上を目的とし、技術動向や最新の知見を収集し、会員会社・発注者・関係団体等への情報発信を行う。

・専門委員会の開催：年6回(2ヶ月に1回)

・環境セミナーの開催：年1回(1会場)

・RCCM 更新テキスト(建設環境)の改訂

・協会本部、技術部会等からの依頼対応

・外部団体からの意見照会、協力依頼対応

・環境専門委員会内の勉強会の実施：
専門委員会開催時に実施

・環境専門委員を対象とした講演会等の実施：
拡大勉強会として外部講師を迎えての講演会等を実施

・その他：関連機関との意見交換会等の開催
(環境専門委員会委員長 大塚 宣昭)